SBI 新生銀行グループ　NEWS RELEASE

2026 年 11 月 5 日

各 位

会社名　株式会社 SBI 新生銀行
代表者名　代表取締役社長　川島　克哉
（コード番号：8303　東証プライム市場）

特殊詐欺等の被害拡大防止等を目的とした「情報共有型連携」への参画について

株式会社 SBI 新生銀行（東京都中央区、代表取締役社長　川島　克哉、以下「当行」）は、特殊詐欺の被害拡大防止等を目的に、2026 年 11 月 9 日より警察庁及び都道府県警察（以下「警察」）との「情報共有型連携」に参画いたします。

1. 協定締結の背景と目的

近時、特殊詐欺や SNS を通じた投資詐欺・ロマンス詐欺の被害は一層深刻化しており、その対策は急務となっています。当行では、お客さまの大切な資産をお守りするため、詐欺被害に遭われている可能性が高いと判断した口座情報等を警察に提供するほか、京都府警や貸金業者等との独自の情報連携体制を構築するなど、金融犯罪による被害の拡大防止に取り組んでいます。

今般、「情報共有型連携」への参画を通じて警察との連携を一層強化し、被害が懸念される取引に係る情報を迅速に提供することで、特殊詐欺等の被害拡大防止につなげてまいります。

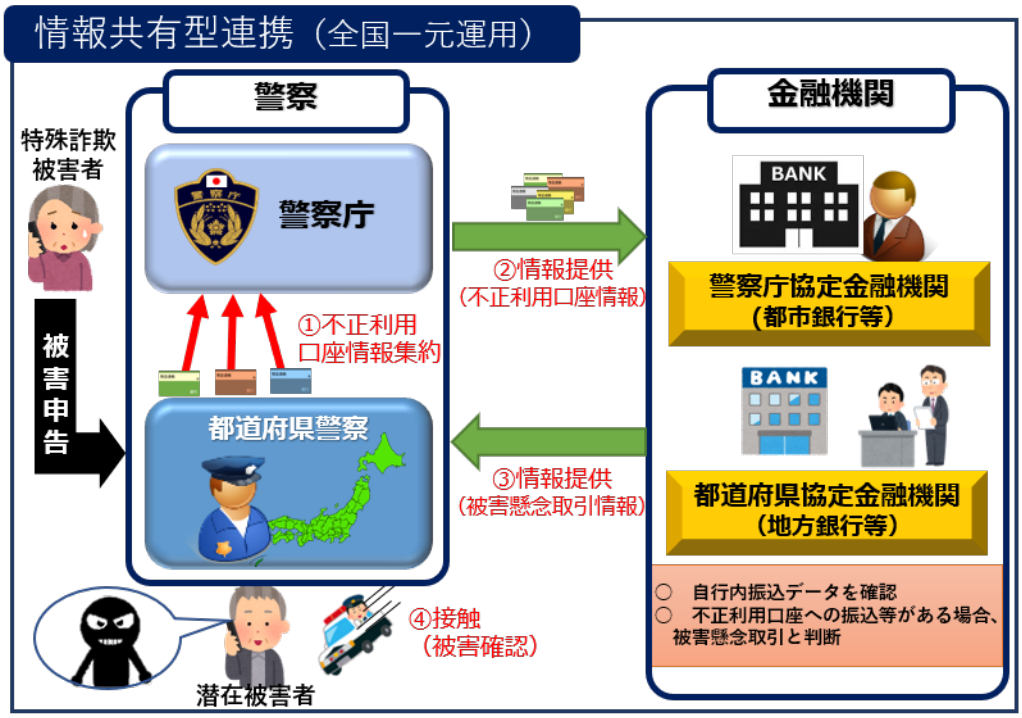
2. 「情報共有型連携」の概要

「情報共有型連携」は、警察庁が都道府県警察から集約した不正利用口座情報（特殊詐欺の被害金が振り込まれた口座の情報）をもとに、当行が被害の可能性がある取引に係る情報を警察に迅速に提供するものです。当行から提供した情報をもとに、都道府県警察が被害の可能性があるお客さまへの接触等を行うことで、特殊詐欺等の被害拡大防止を図ります。

3. 今後の取り組み

当行は、金融庁および警察庁からの要請に基づき、法人口座を含む預貯金口座の不正利用防止に向けた対策を一層強化してまいります。今後も官民連携のもと、金融犯罪の未然防止および被害拡大防止ならびに犯罪捜査への協力等を通じて、社会全体の安全・安心の向上に貢献してまいります。

以　上

お問い合わせ先
SBI新生銀行　サステナビリティ＆コミュニケーション統括部
報道機関のみなさま　SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp
株主・投資家のみなさま　SBIShinsei_IR@sbishinseibank.co.jp

【連携イメージ図（警察庁提供）】